

17:30より販売します！
わらしべ舎：カレー、せっけん、手芸品
はびかむ：コーヒー、シフォンケーキ
コッペ：パン、クッキー
びすた〜りフードマーケット：パスタ、弁当

2015年6月11日(木)

18:30開演(17:30開場)

仙台市太白区文化センター **楽楽楽ホール**
〒982-0011 宮城県仙台市太白区長町5-3-2

前売券 一般 2,500円
全席自由 障がいのある方とその介助者の方 1,000円

学生(中学生から大学生まで) 1,000円

当日券 300円 増

お問合せ 長崎・瑞宝太鼓チャリティーコンサート実行委員会
事務局 アート・インクルージョン
022-797-3672

長崎・瑞宝太鼓 チャリティーコンサート

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・宮城20周年記念

追加開催決定！

長崎・瑞宝太鼓 がまだすライブ
～東日本大震災追悼演奏会～

日時：6月7日(日) 11:00～11:40

場所：名取市ゆりあげ港朝市
メイプル館前

入場料：無料

※「がまだす」とは「がんばりましょう」という長崎弁

主催 長崎・瑞宝太鼓チャリティーコンサート実行委員会

協力：一般社団法人アート・インクルージョン、特定非営利活動法人ほっぷの森
一般社団法人パーソナルサポートセンター



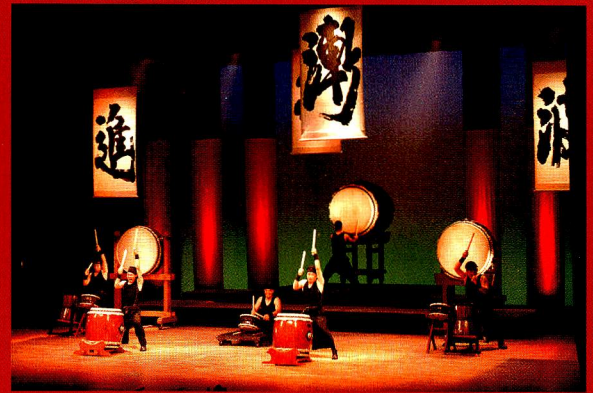
この一打に込める、 メンバーの想い

瑞宝太鼓メンバーは知的障がいというハンディと共に生きてきた。
内気で自己表現が下手で、つらさを訴えることもなく心を閉ざしていた。
しかし、和太鼓と出会ったことで人生が大きく変わった。
目を上げ、前を向き、胸の奥にたまった想いを太鼓で表現する手段を得たのだ。

響きわたる太鼓の音
聴くものの魂にまで届く音

瑞宝太鼓の一打を聴いた方は、それを「天上の音色」だと表した。
メンバーは様々な人生を生きてきて様々なハンディを受け止め
そして自身が気づいたことを多くの人々に太鼓で訴え続ける。

「希望し、努力し、感謝して生きよ」と。



障がい者長崎打楽団 瑞宝太鼓

勤労障がい者長崎打楽団瑞宝太鼓は、我々、社会福祉法人南高愛隣会が掲げる『生かされた人間ではなく自ら生きる人間に』のスローガンを自ら体現する知的障がいを持つメンバーで構成されたプロの和太鼓集団です。年間平均公演数は年間100本を超え、2001年の結成以来「希望し、努力し、感謝して生きる」を合言葉に国内外を問わず精力的な演奏活動を行い、現在は法人のシンボリックな存在にまで成長を遂げました。また全国の少年院・刑務所での慰問演奏や学校講演、高齢者施設での太鼓リハビリテーション活動、そして東日本大震災での支援活動を通して数々の社会貢献活動も行ない、人々に“感動と生きる力”を与え続けています。

【主な活動実績】

学校・PTA関連公演 合計181公演（平成26年1月現在）
少年院・刑務所慰問演奏 合計70公演（平成26年1月現在）
太鼓フィットネス講師 合計250回延べ受講者2650名（平成25年3月末）

【主な受賞経歴】

平成14年10月 第1回東京国際和太鼓コンテスト入選
平成15年10月 第2回東京国際和太鼓コンテスト入選
平成20年7月 サントリー地域文化賞
平成20年11月 長崎県民表彰特別賞
平成22年8月 第9回東京国際和太鼓コンテスト優秀賞
平成24年7月 法務大臣感謝状
平成24年10月 優秀障害者長崎県知事表彰
平成25年9月 人間力大賞「文部科学大臣奨励賞」

【主な海外活動】

平成4年9月 スペインパラリンピック閉会式演奏・マドリードのスペイン広場演奏
平成9年12月 ニューヨーク司連本部・ロサンゼルス公演
平成12年10月 シドニーパラリンピック トーチラン演奏・プリズベンフェスタ出演
平成16年8月 スウェーデンブルネス INAS-FID[国際知的障害者スポーツ連盟]ワールド大会他演奏
平成24年4月 アメリカ 桜まつり100周年記念 ワシントンDC 桜イミリアアジ演奏

スペシャルオリンピックス (SO) <http://www.son-miyagi.jp>

スペシャルオリンピックス (SO) とは

知的障害の有る人（アスリートと呼んでいます）たちに日常的なスポーツトレーニングとその成果発表の場である競技会を年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なボランティア組織です。
2015年7月には、米国ロサンゼルスにて夏季世界大会が開催される予定です。

スペシャルオリンピックスの宣誓

Let me win. But if I cannot win, let me be brave in the attempt.
「私たちは精一杯力を出して勝利を目指します。たとえ、勝てなくても、頑張る勇気をあたえてください」

「スペシャルオリンピックスで大切なものは、最も強い身体や目を見張るような気力ではない。大切なのは各個人のあらゆるハンディに負けない精神である。この精神なくして勝利のメダルは意味を失う。しかし、その気持ちがあれば、決して敗北は無い」
（スペシャルオリンピックス創設者 ユニス・ケネディ・シュライバー）

